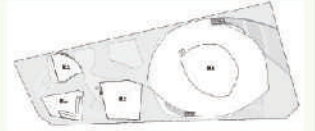
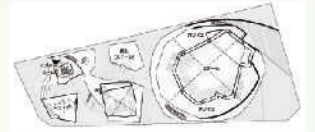


# 渦の柱ホール

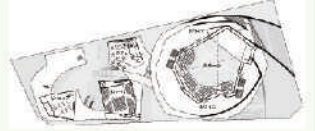
■平面図 S=1/400



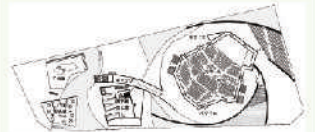
5F



4F



3F



2F



1F



B1F

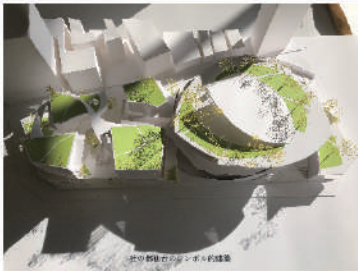


都市の中心に建ち昇ったような屋上公園の建物

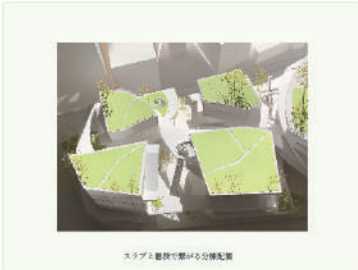


外周上につながらず開かれたロビー

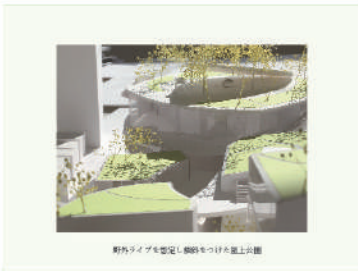
■模型写真



都市の中心でビルとゆるやかに連続



スタジアムと建物が繋がる公園の配置



野外スタジアムを想定し開放感の付く屋上公園

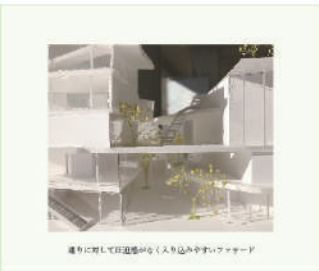
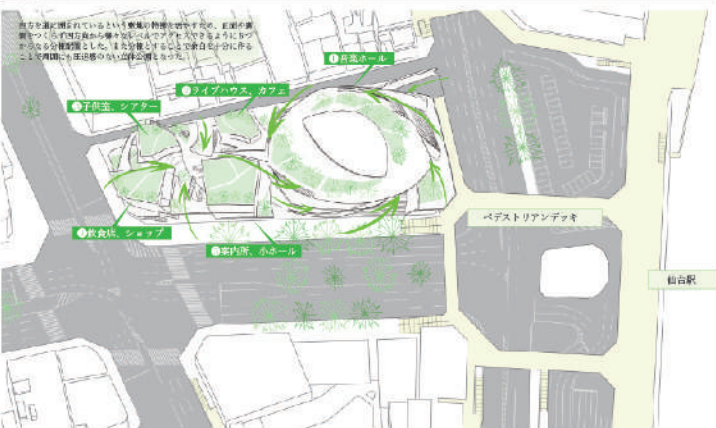
■課題概要

仙台駅前に大規模複合施設をグループで設計する。  
 ・仙台駅正面という立地条件に適した用途を各自設定する。  
 ・用途の異なる各施設をどのように配するかの、ペDESTリアンデッキと接続し、駅中各施設利用者、施設利用者などの乗換、物の搬出入の動線、車の動線等を考慮して見定める。  
 ・敷地は駅の正面にあたり、また四方道に囲まれている。各層の特徴を考慮したファサードを提案する。

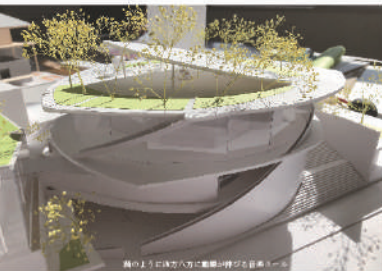
■コンセプト

今回の設計課題で設定された敷地は仙台駅前で、ペDESTリアンデッキから直接接続できることが大きな好立地である。仙台駅という中心地に、軸からしかある、市民の集いの場ともなるような施設を考えた。もたらす都市の“家畜化”と対峙していることと、駅前に市街が接する場がないことから、駅前広場と商業開発連携の複合施設を設計した。市民や仙台を訪れた人と共に暮らさぬようなイメージで、“渦”をモチーフにしてデザインを行った。

■周辺図



通りに対しては近接感なく入り込みやすいファサード



屋上への緑化が外周に緑の帯を形成

■断面図 S=1/200

